

第2回PI委員会傍聴者アンケート及びインターネット中継結果

1 会議概要

日 時：平成24年1月16日（月）13:00～15:00

場 所：トラストシティカンファレンス丸ノ内

出席委員：石田委員、寺部委員、松浦委員、高井委員、目加田委員

傍聴人数：11人（9人提出）

2 アンケート結果

①PIのテーマについて

- 高架ありきで進めてほしくない
- 時のアセスや市民の負担、自治体の財政についても検討課題としてほしい
- まちづくりのあり方も話し合いをもってもらいたい
- これからの取り組みについては高架ありきとしている
- 県市当局は高所から事業を考えるべき
- 高架事業については、沼津市活性化に役立つか否か検証はできていないと考えている。もう一度しっかり検証してください。沼津市の発展に本当に役立つのであれば歓迎する
- 当問題の基は沼津市の活性化であるので、主テーマとしては、街づくりである。そのためには、何をすべきかの手段の一つとして鉄道高架を取

②PIの実施体制について

- PI委員会の独立性と透明性は市民の信頼を得るためにとても重要
- 事務局が県であることはおかしい

③ステークホルダーヒアリングについて

- ヒアリングの内容をPI委員会にすべて公開すべき
- ヒアリング対象者は公募すべき
- 幅広い市民の意見を聞いてほしい
- ヒアリングを受ける側の意識がどの程度であるか、事業を知らない人の意見をそのまま受け止めるのは危険ではないか

④会議の運営について

- 沼津市内で開催してほしい
- 傍聴席を事務局席の前に
- 傍聴者にも発言の機会を
- 事務局の人数が多すぎる
- P I 委員会が市民に周知されていない
- 委員には事前に資料提供した方よいのでは

⑤P I 委員に対する意見

- 有識者会議とはスタンスが違うと感じた
- 広く市民の意見を参考に再検討するスタンスをぶれずに進行してほしい
- P I 委員の方々への信頼を深めた
- 広い範囲での意見を聞いて計画に反映させてほしい
- 鉄道高架事業の経緯、P I を行う経緯をもう少し把握してほしい
- P I 委員の方には今までの経緯をもっと知って反映してもらいたい
- 委員の意見は理解できることが多くあり期待している

⑥その他

- 委員の意見を反映させてほしい
- 鉄道高架事業の発案からすでに 30 年、この年月を経ても具体化しないのはなくてもよいということ。もし事業が始まって 20 年以上の間駅周辺が工事中では今よりもっと中心市街地はだめになってしまうと思います。私の周りの市民で高架に賛成している市民はいません
- 地域の有力者による意見で押えられている傾向がある
- 賛成と反対に二分しているという考えは間違っている。反対派は一握りである
- (反対地権者は) 大切な土地を売らないと言っているのに、貨物駅以外なら喜んで売ると言っている。理解できない

3 インターネット中継結果

- アクセス台数 パソコン 32 台
- 延べ視聴時間 33 時間